

大涌谷 SAR 結果に関する温地研コメント

・地球観測衛星「だいち 2 号」により取得された 2 時期（2014 年 10 月 9 日と 2015 年 5 月 7 日）の合成開口レーダ（SAR）のデータを、温泉地学研究所が独自に解析した結果、大涌谷において直径 100～200m の範囲が最大 6cm 程度、衛星方向に近づく変化（隆起）が認められました。

・異なる 2 時期のデータ（2014 年 12 月 12 日と 2015 年 4 月 17 日）を解析した結果では、この様な局所的な隆起を示す変化は得られておりませんので、この変化は、2015 年 4 月 17 日以降 5 月 7 日までに生じたと考えられます。

・この変化は局所的であることから、地下のごく浅い所の圧力が高まっている状態を見ていると考えられます。

・このことから、今後この付近で小規模な水蒸気爆発が発生することが考えられます。

・このため、今後、だいち 2 号による次回（5 月 10 日予定）以降の観測結果から、その推移について注視していく必要があります。